

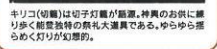
ケアホーム「アイル」Easo開設

平成24年3月に法人で16軒目となる「アイル」(白山市成町)、4月に17軒目となる「Easo」(能美市津が丘)が開業しました。2軒とも、オール電化のエネルギーシステム、エキュート完備の安全で地域にやさしいホームとなっています。

能登町キリコと灯りの祭典 フィナーレの花火に 日本海俱樂部も協賛

近年の不況により、奥能登地域では夏の風物詩とも書える花火大会が徐々に減りつつあります。盛大な花火大会で地域振興に寄与しようとして、能登町の「キリコと灯りの祭典」でフィナーレを飾る打ち上げ花火に協賛しました。

榎田植物公園の夜空に打ち上がるみだれ打ち200発、5連打のスターマイン、クラシックに乗せて演奏する花火など朝年の盛りだくさんの大満足な様子でした。



キリコ(切籠)は切り灯籠が提灯、神輿のお供に飾られ、能登町特別の祝賀行事である、ゆらゆら揺れる灯籠が印象的。

- ### 寄付者一覧
- #### 仏子園
- 中興ボランティア・藤村・沖野(実行委員会)、松任(保護者)、寺(祖父)
 - 星が岡牧場
- #### 三草二木 西園寺
- 平野久美子、山田和子、大塚、金森キミ、青野真子、土田寛恵子、中田真子
- #### エイブルバランダー
- 小坂信幸、岡野明夫
- #### キッズバランダー
- 小坂信幸、米田正明
- #### 日本海俱樂部
- (有) 久田工務店

交流招待一覧

星が岡牧場

石川県経産局「地域支え合い事業」において、星が岡牧場・日本海俱樂部に補助いただきました。
ありがとうございます。

能美市社会福祉協議会「平成24年度福祉施設地域交流助成金」において、星が岡牧場に補助いただきました。

エイブルバランダー

伊勢亀崎会・内灘町ボランティア連絡会・羽州市南区民生児童福祉委員協議会・下呂市福祉地区民生児童委員協議会・加賀市三谷南地区民生児童委員協議会・21世紀東アジア青年交流計画「インド青少年訪日団」石川県立加賀高等学校、下呂市NPO法人グループホームいきいき、能美市人口地区民生児童委員協議会・近畿大学山口健康センター、東京府立大学附属保健センター、テッククロス 吉崎伸一、NHK金沢放送局長小島伸夫、荒尾地区民生児童委員協議会・命の行進、白山市市民児童委員協議会、昭栄会、昭栄会、昭栄会、昭栄会

表紙

昨年度始まったBUSINESS PHOTO AWARD。スタッフが一冊の雑誌をテーマに、いろいろな作品を撮影し、その中からベストな作品を選びました。表紙の写真は、BUSINESS PHOTO AWARD 第1回目の特別賞に選出された作品です。

あとかぎ

先人はよく物語を見て名言を後に残してくれています。名言に聞かされ、その言葉をよく見て、名を刻ましてみたい。

三草二木西園寺 安倍真紀

発行

妙林 73号
社会福祉法人 佛子園
石川県白山市北安田町54番地2
TEL 076-275-0616
FAX 076-275-0616
MAIL busshin@busshin.or.jp
H P http://www.busshin.or.jp
発行人 安倍真紀
発行日 平成24年9月26日



オープンでの ソーシャルインクルージョン展開

タラヤナ財団とのパートナーシップ提携

私たちが海外研修で初めてフロンティアを訪れたのが2010年の秋。福祉に従事する者としてGNH国民福祉財団の考え方に学び、これまでと人事交流を深め、今年5月にパートナーシップを結んだ。この関係は、タラヤナ財団とフロンティアの両者に好影響をもたらした。

ドッジフロンティア財団は2003年にアジアの国々によって地方の社会的弱者を支援する目的で設立されたNPOです。伝統的な手を繋ぐ活動だけでなく、職工や住民が作った商品の買取生活手当ての支給、ボランティアの育成など貧困層に対する様々な活動を行っています。

かつての日本がそうだったように、フロンティアでは障害者をもつて生まれてくることは前世で悪いおこないをした結果だと人々から認識されて、障害者社会活動や経済活動に阻害され、相互扶助から外されることも少なからずあります。その一方で、福祉はさまざまな資格をもち、福祉が地方では起きている。障害者福祉という概念が無く、障害者に関する法律や支援するための公的機能が未整備なフロンティアにおいては、障害者の自立や活動保障、差別問題が最大の課題となっていました。

私たちが在民の声により、福祉をリベートしてソーシャルインクルージョンを掲げた三草二木西園寺のところに、タラヤナ財団が「オープン」の新しい将来、中央フロンティアのようなコミュニティセンターの建設をお互い協力して進める予定にしています。このプロジェクトには金沢工業大学や地元企業の企業も参加予定で、プロ세스を通じてフロンティアの発展と最大限に引き出すことが視野に入っています。フロンティアの発展に匹敵する、新たなオープンなソーシャルインクルージョンモデルを生み出す日ももう遠くはないのかもしれない。

日本海俱樂部 施設長 清水愛美



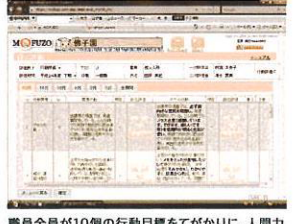
観望

時代は変わったものである。当法人の日本海俱樂部とスタッフが某地方銀行のイメージCMとして採用された。昼夜問わず頻りに流れるCMに、周辺からは取引銀行?との声も挙がったが、全く扱いない銀行。営業的な含みはこちら側からは判断できないが、海に臨む日本海俱樂部のオシャレでオープンな雰囲気とスタッフの明るくて元気な様子を採用の理由だということ。ロンパランピックを扱ったCMが世界中で感動を呼んだ。美しく衝撃的な映像は、人間には何が動けるのか、それを成し遂げる強さとは何なのかを見ることができ、それを成し遂げる強さとは何なのかを見る、人の心に強く問いかけた。情報化社会という言葉は、もはや死語と成りつつあるが、情報処理技術の向上は、切り取ることが難しかった一瞬の輝きを捉えることを可能にした。映像ばかりでなく、国の施策に関する統計などの集計や発表も飛躍的に早くなった。厚労省の「社会福祉に関する国民意識調査(8月28日)」によると、「貧しい人への政府の援助を減らすべきだ」と考える人が、先進諸国の中でフランス・アメリカ・イギリスに次いで4番目に高い17%という。日本の上位にある3国はいずれも自己権利・責任を求める風潮が強い国であり、日本がそこに顔を連ねるとのことには、分って分かってある。なで、JAPANの活躍には、何処へ向かうのだろうか?何といっても日本は幸せな国である。ただ、社会に溢れる物や情報に振り回されなければ、話してある。日本人が感じる「生きづらさ」は、実をいって自分たちが幸せであるということに気が付いていないことに原因があるのではないか。

(良)

新人事評価システム 「もふ蔵さん」 テストランスタート!

法人本部人事評価担当
星が岡牧場施設長 西田 宏一郎



職員全員が10個の行動目標をてがかりに、人間力向上にとりかかっています!

